

UNITED NATIONS



NATIONS UNIES

地雷に関する啓発および地雷除去支援のための国際デー  
地雷・爆発性危険物撲滅 国連グローバル・アドボケイト メッセージ

2019年4月4日

一歩、または二歩、三歩、それがあなたの最後の一步になるかもしれない。もし今あなたがいるのがアフガニスタンかイラク、ナイジェリア、ソマリア、もしくはイエメンだとしたら、一歩踏み出す必要さえないかもしれません。電気のスイッチを入れるだけ、または戸棚を開けるだけで、あなたの家や近所を破壊してしまうような爆発が起こるかもしれません。

今日4月4日は「地雷に関する啓発および地雷除去支援のための国際デー」であり、私は、地雷やその他の爆発性危険物の無い世界を実現するために奮闘し続ける国連の活動に関心が集まるよう活動を行っています。

先月、「対人地雷の使用、貯蔵、生産及び移譲の禁止並びに廃棄に関する条約（オタワ条約）」は発効20周年を迎えました。現在までに164か国が批准または加盟しました。85か国が5000万以上の備蓄されていた対人地雷を破壊し、地雷原の存在した31か国が除去を完了しました。これは称賛するにふさわしい、素晴らしい成果です。

この成果は、地雷や爆発物に対する悲嘆と嫌悪を原動力とし、支援活動によってもたらされました。かつて簡単で安価に製造でき、広く使用されていた対人地雷は、活動家や理想を追い続けた人たちのエネルギーを通して、そして市民社会団体や国連・研究者・国際法学者・ジャーナリスト・政府の活動を通して排斥されたのです。地雷が一つ作られないということは、一人の子供の人生が、暴力的に奪われたり永遠に変えられたりするのを防いだ可能性を意味するのです。

国連は、地雷やその他の爆発性危険物の無い世界の実現に向けて引き続き献身的に取り組んでおり、今日、「セーフ・グラウンド（Safe Ground）」キャンペーンを立ち上げます。このグローバル・キャンペーンは、地雷対策とスポーツ、そして「持続可能な開発目標（SDGs）」のつながりを促進し、地雷原を運動場に変えることで地域社会を育成し、武力紛争の犠牲者・生存者に関しての意識を高めることを目的としています。

20年前に対人地雷の惨劇にオタワ条約の締結によって立ち向かったように、どんな課題に直面しようとも団結して取り組み、議論と提唱を通して人々の心と態度を変え、そして忍耐強く強固に立ち向かうことで、私たちの力でこの世界をより良い場所にできるということを、私はみなさんに確信して頂きたいのです。